

## 令和8年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	76	学校名(課程)	松本工業 高等学校(全日制)
------	----	---------	----------------

## 1 全体目標

- 自ら学び、自ら鍛え、社会の変化に対応し、たくましく生き抜くことができる、心豊かな生徒の育成。  
 企業・大学見学、インターンシップ、企業説明会、課題研究を基本とした実践的総合力の習得を3年間系統的に取り組むとともに生徒一人ひとりに応じた、早期からの進路指導の推進。

## 2 現状・課題

- 1, 2年の企業説明会、2学年でのインターンシップは職業選択する上で有意義と考える。  
 生徒の進路希望が、本校で学んできた各専門分野とは異なる場合が例年見受けられる。そのような状況での就職指導では、企業見学の充実はこれからも重要である。また、進学指導でも、進学ガイダンスなどをさらに充実させていく必要がある。

## 3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。  
 学校で言い換えた力でもよい。

- a コミュニケーション能力：自分の意思を正確に伝え、相手の考えも正しく理解する力。  
 b 自己探求：基礎学力、自主的な学力向上に努め、卒業後の適切な進路選択と自己実現力。  
 c 社会的・職業的自立に必要な基礎力〔基礎的・汎用的能力〕。  
 c 1 基礎学力 c 2 課題探求および解決力 c 3 情報発信力 c 4 自他への能動性

## 4 内容

指導項目	指導方針(対応する項目)
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 教育のあらゆる場を捉え、恒常的に目指すべき「能力」の育成に努める。 イ 企業や大学等との連携を通して、真に社会に求められる力の醸成を図る。〈①②③〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 講演会や各種体験活動においては、事前・事後指導を充実させ、その都度必要に応じた振り返りを行う。〈①②③〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 各学年間の連携を意識し、3年間の指導が継続的・体系的になるように努める。 オ 基礎学力の確立を土台にして、学びの姿勢が身に付くように指導を行う。〈②④〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	カ 様々な活動を通して自ら働きかける力を養成し、自己実現や社会参画への能動性や情報発信力を獲得することを目指す。〈②③④〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	・基礎学力の確立の上に成り立つ、課題の発見・提示・解決能力を育成する活動の実施。 ・コミュニケーション能力と情報発信力の向上を目指した活動の導入。
総合的な探究の時間	・工業の見方・考え方を働かせ、課題を発見、解決する力を養うとともに、工業の発展や社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を養う。 ・課題研究での企画力、発想力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力等の醸成。
特別活動	・科目選択、進路の研究と選択(「進路情報」ブック)の利用を含む。 ・自己理解と表現力向上のための小論文指導。 ・企業連携、大学連携、知的財産。 ・望ましい職業観や勤労観育成のためのインターンシップ<2年>。
校外の体験活動(就業体験活動等)	・学校説明会、オープンキャンパス<1・2・3年>。 ・企業連携、大学連携、知的財産。 ・インターンシップ、事業所見学<2年>。
地域や産業界等との連携	・事業所見学・地元大学訪問<1年>、企業説明会<1・2年>。 ・インターンシップ(事前・事後指導、講演会)<2年>、および発表報告会<1・2年>。
評価	・生徒、教員へのアンケート。 ・生徒との面接。 ・企業との情報交換。
中学校との連携(指導の継続性)	・高校入学までのキャリア形成の振り返り(入学時)。 ・学校説明会等の各種機会における、キャリア教育キャリアパスポートの活用。
校内の推進体制	・キャリア教育推進委員会を中心に、全職員の理解と協力を得て推進。 ・上記委員会と進路指導係との緊密な連携。
キャリア・パスポートの取組	・自身の変容や成長を自己評価できるように準備し活用<1・2・3年>。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己と社会の理解 ○進路研究	○望ましい職業観・勤労観の体得 ○進路目標の設定	○進路の主体的選択 ○進路実現
主 な 取 組	○基本的な生活習慣確立 ○2年次の選択科目 ○学びの姿勢の育成 ○ポートフォリオを活用し自己・進路探求	○進路目標の設定と課題の明確化 ○インターンシップの計画と実施 ○3年次の選択科目 ○ポートフォリオを活用し自己・進路探求	○課題研究による3年間の総まとめ ○基礎学力の確立 ○進路実現への段階的実践活動 ○ポートフォリオを活用し自己・進路探求・実現
評 価	・担任との面談 ・教員アンケート	・担任との面談 ・教員アンケート	・担任との面談 ・教員アンケート

年間指導計画と各取組の関連

\*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他 (面接・評価等)
1 年	4・基礎力診断テスト シラバス説明 レポート指導	3学年の課題研究で代替	「進路情報ガイドブック」の活用 (通年) 進学研究・職業研究 (通年)	面接
	7	ポートフォリオ (通年)	進路希望調査 文化祭	面接
	夏 進学補習 夏休み課題帳 休		学校見学・オープンキャンパス 工業高校生学習合宿 高校生ものづくりコンテスト	
	8 知的財産講演 基礎力診断テスト 11 大学・企業見学会 12		進路ガイダンス インターシップ体験報告会 進路希望調査・2年次科目選択 「卒業生と語る会」	面接
	1 企業連携・大学連携 小論文指導 基礎力診断テスト 3 春 春休み課題帳 休	課題研究発表会	進路ガイダンス 企業説明会	生徒意識調査(県教委) 面接 2学年との引継ぎ会 年間評価・次年度の計画 教員アンケート
2 年	4 実力テスト シラバス説明 レポート指導 ビジネスマナー指導	3学年の課題研究で代替	進路ガイダンス 進学・職業研究 (通年) 文化祭・人権学習・進路希望調査 進学研究・職業研究 (通年)	面接
	6 7	ポートフォリオ (通年)	インターンシップ (全員)と事前事後指導 「進路情報ガイドブック」の活用 (通年)	活動レポートの提出 面接
	夏 進学補習 夏休み課題帳 休		高校生ものづくりコンテスト 工業高校生学習合宿 学校見学・オープンキャンパス	
	8 実力テスト 9 専門教科による体験学習 12		「卒業生と語る会」・次年度選択科目説明会 インターンシップ体験報告会 進路ガイダンス・進路希望調査 3年次科目選択・研修見学旅行	面接
	1 企業連携・大学連携・知的財産 小論文指導 基礎力診断テスト 3 春 春休み課題帳 休	課題研究発表会 次年度課題研究テーマ準備	進学模試、小論文模試、就職模試 事業所見学 (希望者) 企業連携・大学連携・企業説明会 事業所見学 (希望者)	生徒意識調査(県教委) 面接 教員アンケート 年間評価・次年度の計画 1・3学年との引継ぎ会
3 年	4 実力テスト シラバス説明 企業連携・大学連携・知的財産 レポート・小論文指導	課題研究 テーマ決定と 計画・準備、開始 (企業連携・大学連携)	進路ガイダンス・進路希望調査 進学研究・職業研究 (通年) 文化祭	面接 就職・進学指導
	7 実力テスト	ポートフォリオ (通年)	進学模試・就職模試・公務員模試	三者面談
	夏 進学補習 休	課題への取り組みから問題解決力や研究発表によるプレゼンテーション力の育成	工業教育活性化セミナー 工業高校生学習合宿 応募前事業所見学 高校生ものづくりコンテスト	面接 進学指導 就職指導
	9 進学補習 12	課題研究中間発表 課題研究発表準備 レポート作成	「卒業生と語る会」 入社試験開始(9月中旬) 入学試験開始 進学模試	面接 就職指導 進学指導 生徒意識調査 (県教委)
	1 3	課題研究発表会	労働出張講座・生活設計講座 (行政機関等に依頼)	年間評価 2学年との引継ぎ会 教員アンケート